

RFID を活用した建設業向け新サービスを開始 ～ 建築資材のサプライチェーン管理を高度化し業務効率化へ ～

ロジスティード株式会社は、当社グループのサプライチェーン管理ソリューション「SCLINK+(エスシーリンク)」に RFID※を連携し、建設業界の課題を解決する新サービスの提供を開始しましたのでお知らせいたします。

本サービスは、サプライチェーン上のモノに付与された RFID タグ情報を SCLINK+と連携することで、調達・保管・輸送・納品・設置に至るまでの一連のプロセスをリアルタイムで可視化するものです。これにより、製品・資材の所在やステータス管理、業務進捗の把握を効率化し、お客様のサプライチェーン全体の最適化に貢献します。

※RFID(Radio Frequency Identification)：電波を利用してタグ情報を非接触で読み取る自動認識技術

1. 建設業界のサプライチェーンにおける課題

建設業界では、建築資材に関する情報が複数の Excel ファイルや PDF などに分散しているケースが多く、必要な情報の検索や更新に時間を要しています。また、メーカー、代理店、ゼネコンの調達担当者、現場担当者など、多様な関係者間のコミュニケーションは依然としてメールや電話を中心に行われており、情報共有や進捗確認に多くの工数が発生しています。

こうした中、サプライチェーン全体の情報をリアルタイムで共有し、関係者全員が同じ情報に基づいてひとつの建設プロジェクトを円滑に進められる環境の整備が求められています。

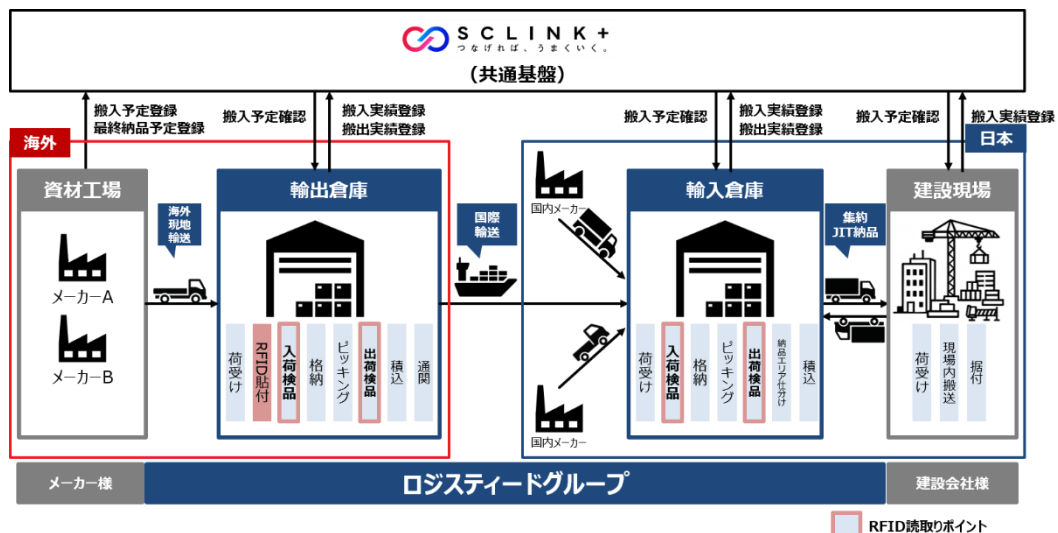
2. SCLINK+とは

SCLINK+は、ロジスティードグループが提供する、発注、出荷、輸送、保管、納品など、サプライチェーンにおけるさまざまな情報をクラウドで一元管理するプラットフォームです。共通基盤で情報共有や進捗管理を行うことで、サプライチェーン全体の可視化を実現します。また、帳票や図面、画像などの各種データとメッセージを案件ごとに関連づけて管理できるため、必要な情報を一元的に参照でき、関係者間の円滑なコミュニケーションを支援します。



3. RFID との連携によるサービスの特長

SCLINK+に RFID を連携することで、サプライチェーン上の情報と実際のモノを紐づけ、所在情報や移動履歴、ステータス情報をリアルタイムで把握することが可能となります。これらのデータを蓄積・分析することで、建築資材のリードタイムの把握や、工程遅延リスクの早期発見など、建設プロジェクト全体の最適化に活用することができます。





News Release

4. 今後の展開

現在、国内大手建設会社や設備施工会社に導入されており、資材管理・工程管理の効率化や、関係者間の円滑な情報共有に寄与しています。今後はメーカーの生産物流のほか、建設現場内の搬送や据付まで、さらに領域を拡大していく予定です。

ロジスティードグループは、物流現場で培った知見とデジタル技術の融合により、お客様のサプライチェーン全体の最適化を支援し、持続可能な物流の実現と社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上

【お問い合わせ先】

ロジスティード(株) 広報部

TEL: 03-6263-2803